

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和 6年10月27日(日)・ 令和 6年11月17日(日)																		
事業名	さわやか青年教室																		
趣 旨	知的障害のある青年を対象とし、充実した勤労生活を送るための技能を習得したり、社会生活の質の向上を目指したりする学習支援活動、スポーツ・レクリエーション等の余暇支援活動など、学びの機会となる場を提供することにより、よりよい社会生活・家庭生活を送るために必要とされるルールや技能を身につけ、充実した社会生活を営むことを目指す。																		
会 場	第4回 当所中研修室2及び陶芸室 第5回 当所中研修室2及び手工芸室																		
対 象	18歳以上50歳未満の知的障害のある方																		
申込方法	Web又は葉書、来所																		
募集定員	40名程度	募集期間	令和 6年 4月 17日から令和 6年 5月19日																
参加者数	10 月 27 日芸術13名、音楽20名 11 月 17 日芸術11名、音楽 20 名	参加費用																	
講師 等	芸術教室(陶芸): 県立東葛の森特別支援学校 鈴木幸保氏 芸術教室(折り紙): 日本折紙協会認定講師 折り紙の会西原 濱田クミ子氏 音楽教室: 県立特別支援学校流山高等学園 平瀬麻依子氏																		
実施内容	<table><tr><td rowspan="5">参加人数:</td><td></td><td>令和6年10月27日(日)</td><td>令和6年11月17日(日)</td></tr><tr><td>受講生</td><td>33名(9名欠席)</td><td>31 名(11 名欠席)</td></tr><tr><td>講師</td><td>2名</td><td>2名</td></tr><tr><td>ボランティア講師</td><td>2名</td><td>2名</td></tr><tr><td>学生ボランティア</td><td>6名</td><td>5名</td></tr></table> 活動内容: 第4回 芸術(陶芸)教室・音楽教室 第5回 芸術(折り紙)教室・音楽教室 日 程: 10:00～12:00 ①始めの会 (オリエンテーション、講師及びボランティア紹介) ②芸術・音楽教室 ③終わりの会 (次回の連絡、アンケート記入) ※活動後、ボランティア、職員で反省会			参加人数:		令和6年10月27日(日)	令和6年11月17日(日)	受講生	33名(9名欠席)	31 名(11 名欠席)	講師	2名	2名	ボランティア講師	2名	2名	学生ボランティア	6名	5名
参加人数:		令和6年10月27日(日)	令和6年11月17日(日)																
	受講生	33名(9名欠席)	31 名(11 名欠席)																
	講師	2名	2名																
	ボランティア講師	2名	2名																
	学生ボランティア	6名	5名																



芸術(陶芸)教室の様子



芸術(折り紙)教室の様子



音楽教室の様子

【満足度100%】

芸術教室	音楽教室
【陶芸】 ○楽しかった。おもしろかった。 ○かわいい犬ができた。 ○透明の色が楽しみ。 ○ものすごくいいものができた。 【折り紙】 ○楽しかった。上手く折れてよかった。 ○折り紙でサンタとミニバッグを作ることが難しかったですが、おもしろかった。 ○最初は難しかったけど折り方を教えてくれたので、なんとかできました。 ○また折り紙をやってほしい。	○楽しかった。 ○上手く歌えてよかった。 ○「ビリーブ」「翼をください」「にじ」を歌えて楽しかった。 ○皆さんと一緒にトーンチャイムをやれて楽しかった。 ○トーンチャイムで演奏したり歌を歌ったりして楽しかった。またやりたい。 ○知っている曲だったので、楽しかった。 ○「にじ」の曲で指揮と手話、ダンスをして楽しかった。 ○音の長さを合わせるのが難しかった。

参加者
アンケート

【成果】

- ・本事業の趣旨については、陶芸や折り紙、音楽活動が「レクリエーション等の余暇支援活動」の視点において、受講生に学びの機会となる場を提供し、充実した社会生活を営むこと目指した支援が実現できた。
- ・活動内容については、どの活動も受講生が取り組みやすい内容を計画したことで充実したものとなった。
- ・受講生のアンケートについては、満足度が100%と高い結果であった。事前アンケートをとり、芸術か音楽の好む活動を選択し参加したことで、高い満足度が得られた。
- ・支援体制については、ボランティア講師や学生を各グループに割り当て、支援計画をしたことで、円滑に講座を進めることができた。

担当者の
所感

【課題・今後の方向性】

- ・陶芸の活動内容については、講師による粘土形成の事前準備により、受講生は容易に取り組むことができた。陶芸は最適な活動だが、作るものを検討する必要がある。
- ・折り紙の活動内容については、折り紙に目印をつけたり、実物投影機を活用したりすると、さらに円滑に活動できると考える。受講生の特性に応じた支援が必要である。
- ・音楽の活動内容については、トーンチャイム、手話、ダンス等を取り入れた演奏は、受講生にとって馴染みのある活動であり、楽しく参加できるため、最適な活動である。

